

第92号

令和4年12月
発行

ボランティア・協働情報紙 ～まなびとボランティアをサポートする～

まなぼら



Contents

特集

ボランティアの魅力を発信～高校生ボランティアの活動～
元気人

ボランティアグループ『シエロ』 山中 歌夜子 さん

防府市生涯学習課のイチオシ

- 令和4年度生涯学習ボランティア養成講座
スポーツ・レクリエーション
- 報告♪ほうふ幸せます人材バンク

防府市社会福祉協議会のイチオシ

- 手話のキホンが学べる！市民手話講習会
- 野島で小物作り

防府市市民活動支援センターのイチオシ

- 『多様な学校選び』情報交流会を開催しました！

ボランティアの魅力を発信

～高校生ボランティアの活動～

＼ 周りも自分も笑顔になる ／



▲LINE 講座の様子

『参加して本当によかった！』受講された方の笑顔を見た時、本当に嬉しかったです！』そう話してくださったのは、大道地区で大人のための LINE 講座を企画、実施した防府西高校ボランティア部の大塚瑞姫さんです。

防府西高校のボランティア部は、上記の LINE 講座の他、24 時間テレビの募金活動や近隣の保育園への切り絵カレンダー贈呈など、コロナ禍にあっても工夫を凝らしてボランティア活動を行ってきました。

＼ 人との接し方を学ぶことができる ／

市市民活動支援センターが 10 月に開催した『ほうふ市民活動フェスタ 2022』では、さまざまな分野の活動を行っている市民活動団体 15 団体の活動展示や啓発・体験・販売ブースの運営を防府商工高校の生徒が団体の方たちと一緒にを行いました。



▲当日の様子

生涯持続可能な英語学習を実現するために、実践・研究を行い、参加型の手法による英語の学びを提供している『^{エステイム ヤマグチ}ESTEEM-yamテーマ別英語教育研究会・山口』は、ハロウィンを題材にした絵本を用いてリーダーズシアター（日本で言う朗読劇）のワークショップを実施しました。

活動に参加した 5 名の生徒は、約 1 ヶ月前から団体との打合せや発音練習、ハロウィンの飾り制作に取組みました。当日までグループ LINE を用いて何度もやり取りを行ったそうです。そして当日

は、ワークショップに参加してくれた小さなお子さんが喜んでくれたことにやりがいや楽しさを感じ、また、協力して物事を成し遂げることの大切さや人との接し方を改めて学ぶことができたそうです。

団体の方は「高校生との活動を通して改めて自分の活動の意義を感じることができた。年齢や考え方が違ってても伝え合う楽しさを知ることができた」と話されており、お互いに新たな発見が生まれる貴重な機会となりました。



▲打合せの様子

みなさんは、ボランティア活動に参加したことがありますか。ボランティア活動に参加している人の割合を年代別に見ると、60～70代の割合が高く、ボランティア活動は、「仕事を引退した人が始める」「時間に余裕のある人が参加する」といったイメージをもたれる方も多いのではないのでしょうか。しかし、まなぼら編集部である3機関のボランティア担当者から見ると、最近では10代の活動も活発になってきています。今号では、市内で活躍する高校生ボランティアの活動事例をご紹介します。

大塚さん、そして同じくボランティア部の大田涼々花さんは、もともと、活動するなら他人（ひと）のためになることをしたい、とボランティア部に入学したそうです。

大塚さんは、「コロナ禍で、地域のお祭りが中止になったり、ふれあい活動が制限されたりしましたが、ボランティア活動を行えば、周りも自分も笑顔になります。そしてがんばろうという力になります。ボランティア活動を始めるまでのハードルは高いのですが、始めてみると楽しいです」、大田さんは、「LINE 講座などのボランティア活動を通じて、高齢者や地域の方々との関わり合いがもてて、嬉しかったです」と話してくださいました。



▲大田さん 大塚さん

＼ 大変だけど楽しくて達成感がある ／

市生涯学習課では、青少年の地域に根ざしたボランティア活動を推進することを目的として、主に高校生を対象に『青少年ボランティア』を募集し、市が主催のイベントに派遣しています。

『青少年ボランティア』の活動場所の1つとして『「家庭の日」親子ふれあいイベント』があります。このイベントは、第3日曜日の『家庭の日』に家族と一緒に過ごすことを目的として市が山口短期大学との協働により開催しています。会場では、工作や絵本の読み聞かせなど、親子で楽しく過ごせるような企画を実施しています。高校生は『青少年ボランティア』として参加し、来場者の受付や各ブースでのお手伝いをしています。近年はコロナ禍のため十分な活動はできていませんが、以前は空いた時間に子どもたちと追いかけて遊ぶなど、訪れた親子が楽しい時間を過ごせるようにイベントを盛り上げてくれていました。

参加した高校生からは「子どもたちが元気いっぱいなので大変だけど楽しくて達成感があった」という感想がありました。子どもたちにとっても、普段は接する機会が少ない年代のお兄さんやお姉さんとふれあうことができるのでお互いにとってよい経験となっているようです。



▲活動の様子

『青少年ボランティア』の募集については、イベントの開催に合わせて市内の高校などに案内をしています。

【問合せ】

防府市青少年ボランティア推進委員会
事務局 市生涯学習課（7P参照）



山中 歌夜子 さん

Kayoko Yamanaka

ボランティアグループ『シエロ』

山中さんは、市社会福祉協議会が開設しているボランティアコーナーでボランティアアドバイザーを務められています。また、ボランティア団体『シエロ』の代表としても活動されています。この度、長年活動を行ってきた『シエロ』が『防府市社会福祉協議会会長表彰』を受けました。

Q 「シエロ」はどんな活動をされていますか。

10年以上前になるでしょうか、精神や知的の障がい児（者）の社会進出を支援するため、気軽に集うことのできる居場所をつくったり、引きこもりを防止したりするボランティア活動を始めました。現在は、コロナ禍のためお休み中ですが、理解ある人をボランティアとして集め、月に1回、土曜日あるいは日曜日に、障がい児（者）と一緒に買い物に行く、公共交通機関を利用する、あるいは映画を見に行くなどの体験をしています。

Q ボランティア活動を始めたきっかけは何ですか。

当時義祖母が入院していたため、何か役に立つことがあるかもしれないと思い平成7年にヘルパー養成講座を受けました。そこで、たくさんの方から声をかけられて、精神保健ボランティアを始めることになりました。その後、自分たちの居場所があればという思いで、防府天満宮の近くに元気サロン『通りゃんせ』を開設しましたが自分たちだけでなく、市内全域の方が集える場所にしたいという思いに変わりました。以降多くの方々ともめぐり合い、支えられて、元気なサロン活動を行うことができました。

Q 活動において大切にしていることを教えてください。

今できることをやる、ということでしょうか。またダメなことはダメ、ときっちり言うようにしています。もちろん伝える場所、タイミング、言い方には気を付けています。それから活動について、これをやるときちつと決めて行うというよりは、その時の状況や雰囲気にあわせて柔軟に活動しています。

Q ボランティアコーナーを紹介してください。

ボランティアコーナーは、市文化福祉会館内にあり、ボランティアに関する相談を受け付けアドバイスをしています。相談のある方は、どうぞ気軽にお立ち寄りください。また、コーナーにおいては、季節や行事にあわせた小物づくりもしています。（5P 参照）

Q 山中さんの元気の秘訣は何ですか。

家の中が平和であること。ボランティア活動を始めた当初から理解がある夫が健康であること。あとは夫と二人で大切にしている猫（SORA くん）がいることでしょうか。今必要とされていることをする、をモットーに今後もボランティア活動を続けていきます。

防府市生涯学習課



令和4年度生涯学習ボランティア養成講座

スポーツ・レクリエーション

この講座は、ボランティアの養成及びスキルアップのための講座で、放課後子ども教室・留守家庭児童学級・児童館など、子どもに関わるさまざまな活動をされている方々にとって有意義な学習内容です。子どもと関わるボランティアに興味がある方も参加してみませんか。楽しく学びながら、子どもたちを笑顔にするための新たなアイデアが得られるかもしれません。

- 内 容** スポーツやレクリエーションなど、ボランティア活動の現場で簡単に活用できる内容
- 対 象** 放課後子ども教室や留守家庭児童学級（クラブ）に関わっている方、子どもを対象としたボランティア活動に関心のある方
- 日 時** 令和4年12月22日（木） 9:30～11:30
- 会 場** 市文化福祉会館 3階 4号大会議室
- 講 師** 福田 和子さん（ほうふ幸せます人材バンク「指導者バンク」登録講師）
- 定 員** 30名程度（先着順）
- 服 装** 動きやすい服装
- 参加費** 無料
- 申込期日** 令和4年12月15日（木）
- 申 込 み** 市生涯学習課 TEL (0835) 23-3015

ご参加をお待ちしています♪



報告♪ ほうふ幸せます人材バンク

指導者バンク登録講師 かむカム♡くらぶ『食育活動』

11月16日（水）、『指導者バンク』に団体登録されている『かむカム♡くらぶ』のメンバー6人のみなさんが、華浦放課後子ども教室で2年生から6年生までの21人に「からだはすべて食べ物でできている」という考えをもとに楽しく、食べ物の大切さを指導されました。

はじめに、野菜のクイズ大会がありました。子どもたちは、3色の札を持ち、正解と思う色の札を挙げ、当たった人はキラキラシールがもらえます。まず花の写真を見て、どの野菜の花かを3つの中から選び、次に種はどれかを当てます。子どもたちは、大きな声で「わかったー！」と答え、元気よく札を挙げていました。一番たくさんシールをもらった子は、みんなに拍手をしてもらい、嬉しそうにしていました。

次に、食べ物を「からだをつくるもの」「ねつとちからになるもの」「ちょうしをだすもの」の3つに色分けし、それぞれの大切さを伝える替え歌を、講師みんなで楽しく歌われました。

子どもからは、「好き嫌いせずに食べます！」、「小さな種が大きな実になるのがすごい」、講師からは、「子どもたちが、一生懸命考え、積極的に答えてくれてとても嬉しかった」などの感想がありました。





手話のキホンが学べる！

市民手話講習会

手話は、聴覚に障がいのある方の重要なコミュニケーションツールの1つです。あいさつや簡単な手話を学んで、コミュニケーションをとってみませんか。

昼の部と夜の部がありますので、参加しやすい時間帯にぜひご参加ください。

- 日 時** 令和5年2月1日(水)～3月8日(水)
毎週水曜日 全6回(昼、夜それぞれ6回)
【昼の部】10:00～11:30 【夜の部】19:00～20:30
- 会 場** 市文化福祉会館3階9号
- 対 象** 手話に関心がある方や基本を学びたい方(高校生以上)
- 定 員** 10名程度(先着順)
- 参加費** 無料
- 申込日** 令和4年12月15日(木)より開始
- 問合せ** 市社会福祉協議会(7P参照)



野島で小物作り

野島漁村センターから講師派遣の依頼を受け、ボランティアアドバイザー(山中歌夜子さん)が10月17日(月)に野島へ行って短期講座の講師をされました。

以前、野島地区では、地域の方々が小物を作り、小・中学校の文化祭で展示をしてきました。近年はコロナ禍のため、児童・生徒のみの文化祭開催となったことから、参加者は各々持ち帰りやすい巾着袋を作りました。



参加した5名の方々は、針に糸を通すことが難しいと言いながらも、笑顔で会話が弾み、楽しい時間を過ごされていました。参加者からは、「牛に安全ピンがついて取り外して洗濯もでき、付ける場所も替えられていいね」「孫にプレゼントしようかな」といった声が聞こえました。

『ボランティアコーナー』では、ボランティアアドバイザーによるボランティアに関する相談や、小物づくり体験を行っています。興味のある方はご連絡ください。

ボランティアコーナー 毎週月・金曜日 13:00～16:00

場所：市文化福祉会館2階16号 問合せ：市社会福祉協議会(7P参照)



実施
報告

『多様な学校選び』情報交流会を開催しました！

防府市市民活動支援センターでは、NPO、ボランティア団体、企業、行政などを対象に、地域課題やその解決に向けて取組まれているさまざまな立場での活動やその背景を共有できるよう、テーマを設けてそれに関わるさまざまな立場の方々が意見交換する場づくりを行っています。

令和4年9月25日(日)、26日(月)には、『「多様な学校選び」情報交流会』を開催しました。

学校に行けない中学生の保護者の方や県内の通信制の学校の情報が乏しく子どもの進路などに悩みを抱えておられる方からのご相談が増えてきたため、子どもの学びなどを支える活動を行っている市民活動団体のみなさんにもご協力いただき、今回の交流会を企画しました。



当日は、市民活動支援センター登録団体で、“子ども”に関する活動を行っている下記6団体に加え、スクールソーシャルワーカーや中学生とその保護者などが参加され、悩みの共有や情報交換、交流が行われました。

—協力団体—

一般社団法人Happy Education

子どもたちが、自ら学び方を選べる社会の実現を目指し、フリースクールの運営や、不登校児の保護者を対象とした茶話会の開催、啓発活動などを行っています。

子ども家庭支援センター“海北”

子ども自身の悩みや、家庭の子どもに関する相談に応じ、子どもと家庭の健全育成を目指します。日々育児に励んでおられる方へ、楽しく子育てができるように手助けをしています。

まんま会

ドキュメンタリー映画の上映を通して、障がいの有無にかかわらず、命の素晴らしさ、大切さ、一人ひとりのもつ力や可能性を多くの方に感じてもらいたい、さまざまな人と交流することで、自分らしく生きられるようになる人が増えてほしいという想いで活動しています。

グリーフサポートやまぐち

大切な何かを失った体験に伴う悲しみなどのさまざまな感情(グリーフ)を抱える子ども、大人が孤立せず地域の中で安心安全に集える空間づくりを行っています。

特定非営利活動法人市民活動さぼーとねっと

困ったときに「困った」と言える、そんな地域でのつながりづくりを目指して、子育て世帯のさまざまな居場所やサポート体制づくりに取り組んでいます。

山口自主夜間中学校

いろいろな事情で義務教育を修了できなかった方、中学校を卒業したけれど、学び直しをしたい方、日本で生活する外国籍の方、不登校の方や不登校だった方を対象に学び直しを提供し、ともに学びを深めていく活動をしています。

参加者の方からは、新しいつながりができたことで「相談できる場が増えた」「心強さが生まれた」といった声を聞くことができました。また、団体の方からは、「他団体の活動を知ったり、新しい情報を得たりする機会になった」といった感想もあり、さまざまな立場の方にとって有意義な時間となりました。

information

時 時間 場 場所 内 内容 対 対象 人 定員 ¥ 参加費 持 持参物 申 申込み 問 問合せ

随時 収集ボランティア

内 集められたものは市社会福祉協議会 事務所までお持ちください。 問 市社会福祉協議会

収集するもの	収集ポイント	使いみち
エコキャップ	金属類は入れない、よく洗って乾かす	地域福祉活動で活用 活用例：福祉体験用のアイマスク、赤ちゃん文庫など
使用済み切手	消印がわかる状態で1cm程度の範囲で切り取る	
書損じはがき	消印が押されていないものが対象	防府総合支援学校に持参し、車いすへ交換
ブルタブ	よく洗って乾かす	

12/15 (木) 情報発信力アップセミナー Instagram活用術

時 19:00~21:00
 場 市市民活動支援センター会議室
 内 Instagramの機能、効果的な発信のし方、素材の作り方
 【講師】中野 依里 さん
 人 10名 ¥ 無料
 持 スマートフォン、タブレット
 申 来所または電話にて下記へ
 問 市市民活動支援センター

12/24 (土) 【竹林ボランティア防府】ミニ門松を作ってみませんか

時 ①9:30~10:15 ②10:45~11:30
 場 市地域協働支援センター研修室2
 内 ミニ門松(直径20cm×高さ60cm)の制作
 人 各15名(先着順)
 ¥ 800円
 持 花バスミ、完成品を持ち帰る袋
 申 12月22日(木)までに
来所または電話にて下記へ
 問 市市民活動支援センター

R5 募集締切
1/15 (日)

【公益財団法人マツダ財団】2023年度助成

支援期間 令和5年4月1日から1年間

青少年を育む市民活動

青少年健全育成のための民間の非営利活動(ボランティア育成、科学体験・ものづくり、若者の居場所づくり、地域連帯、コミュニティづくり、自然とのふれあい、国際交流・協力)を支援します。
 ★総額800万円(1件10~50万円、約30団体)

申 HPから申請書をダウンロードし、必要事項を入力して電子メールで申請
 E-mail mzaidan.sj@mazda.co.jp

若者×ツナグバ

地域社会のために活動する非営利の若者グループを支援します。満18歳以上30歳未満で、5人以上の団体。過去に取組実績がなくても、1年限りの活動でも応募可能です。
 ★総額150万円(1件30万円、5団体)



編 集 後 記

寒くなりましたね。近年は涼しくなったと思ったらすぐに寒くなるのでお気に入りのジャケットを着るときがありません。寒さに負けないように衣類を着こなしたいものです。(T)

健康の為にランニングをしております。その成果を出すことができるか、毎年防府読売マラソンで試されます。息子にも情けないところを見せないように最後まで完走を目指します。(M)

今号からまなぼらを担当することになりました。読者のみなさんのためになる情報を発信できればと思います。高校生の活動からボランティア活動のヒントが得られそうですね♪(F)

防府市教育委員会教育部生涯学習課 生涯学習相談コーナー

〒747-0026
 防府市緑町1丁目9-2
 防府市文化福祉会館内1階10号
 (0835)23-3015
 (0835)38-8131
 shougai@city.hofu.yamaguchi.jp



防府市社会福祉協議会 (ボランティアセンター)

〒747-0026
 防府市緑町1丁目9-2
 防府市文化福祉会館内1階14号
 (0835)22-3907
 (0835)25-1388
 fureai-net@hofushishakyo.jp



防府市市民活動支援センター

〒747-0035
 防府市栄町1丁目5-1
 笑顔満開通り ルルサス防府2階
 (0835)38-4422
 (0835)24-7733
 shimin@hofu-saport.org

